



JAPANESE A1 – STANDARD LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A1 – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A1 – NIVEL MEDIO – PRUEBA 2

Wednesday 17 November 2004 (morning)
Mercredi 17 novembre 2004 (matin)
Miércoles 17 de noviembre de 2004 (mañana)

1 hour 30 minutes / 1 heure 30 minutes / 1 hora 30 minutos

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2^e partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie n'obtiendront pas une note élevée.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.

学習したジャンルか、又は一般設問から問題一つを選んで、小論文を書きなさい。小論文を書くに当たっては、Part3で学習した作品の、少なくとも二作品に言及すること。その際ジャンルが同じであれば、Part2の作品を援用することも可能である。

1. 物語・小説

- (a) 物語や小説の冒頭には、これから始まる話の核心を予兆している場合がある。学習した作品の中でこれに該当するものがあれば、その予兆がどのようなものであるかを簡単に説明し、話の核心との結び付きについて詳しく述べなさい。

あるいは

- (b) クライマックスというものが、話の中に常に用意されているとは限らない。学習した作品の中で、クライマックスがあるものと無いものとに分け、作者がそれぞれを選択した意図を、論拠をもって説明しなさい。

2. 随筆・評論

- (a) 体験者の記述には想像では書ききれない臨場感とでもいうものが漂う。学習した作品の中に、これに該当する箇所や状況があれば指摘し、臨場感を生む要素を具体例をもって分析しなさい。

あるいは

- (b) 傍観者の視点と客観的視点とはどのように違うのだろうか。学習した作品二つ以上を使って、具体的に違いを述べなさい。

3. 詩歌

- (a) 詩の表現は凝縮されているだけに、複数の解釈が可能になる場合がある。そうした例を、学習した作品から幾つか挙げて、各々の解釈の可能性を述べなさい。

あるいは

- (b) 一つの詩集に収められている詩は、各々独立していながら、共通した色調が流れている場合が多い。学習した作品を例に、各々の色調を構成する要素について、具体的に分析しなさい。

4. 戯曲

- (a) 戯曲は「観る」ことを前提にして書かれるだけに、衣装や容姿の指定は、各々の人物を理解する上で重要である。学習した作品から例を引き出し、外見と人物像との関連を具体的に説明しなさい。

あるいは

- (b) 舞台上「観れば」あるいは見逃したかもしれないが、ト書きで「読んだ」からこそ気付かされた点はあるだろうか。そうした例が学習した作品の中にあれば、各々を指摘し、戯曲を読む事の意味を論じなさい。

5. 一般設問

- (a) 時代背景が密接に関係する作品が一方にあれば、時代から独立した作品というものもある。学習した作品を例に挙げて、いずれであるかを論拠をもって述べなさい。

あるいは

- (b) 時間の隔たりが入ることによって、又は入れることによって、どのような影響や効果が作品に出るのだろうか。学習した作品を使って具体的に分析しなさい。

あるいは

- (b) 文学作品の中に描かれる人物にも、各々「口調」といったものが見られる。学習した作品二つ以上を取り上げて、人々がどのような口調で登場しているかを具体的に述べなさい。また口調からどのような人格が伺えるかも述べなさい。

あるいは

- (d) 作家は、作品を描く上で、特定の読者層を念頭に置いて書く場合はあるだろうか。学習した作品二つ以上を例に、その有無を述べなさい。また、そうした事実が作品に及ぼす影響も考察しなさい。